

【Remudy ニュースター第 115 号】

配信日：2017 年 12 月 15 日

今回は、最近の論文情報をいくつかご案内いたします。

◆The Lancet, 22 November 2017

米国 UC Davis の McDonald らは、グルコルチコイドによる治療は、DMD 患者の移動能力の低下、上肢の症状の進行、死亡に関するリスクの低下に関連があることを発表しました。2006-09, 2012-16 年の 2 つの期間に、440 人の DMD 患者が参加した CINRG の大規模コホート研究の結果です。

一年以上コルチコステロイドの治療を受けた群は、全く受けていないかヶ月未満の治療にとどまった群と比較して、全ての病気の進行を示すマイルストーンの発生時期が有意に延長していました。

詳細はこちらをご覧ください。

→ [http://www.thelancet.com/journals/lancet/article/PIIS0140-6736\(17\)32160-8/fulltext?elsca1=tlxpr](http://www.thelancet.com/journals/lancet/article/PIIS0140-6736(17)32160-8/fulltext?elsca1=tlxpr)

※ こちらの情報は、登録いただいている方のご家族から教えていただきました。

— * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * —

◆Journal of Neuromuscular Diseases, 21 November 2017

英国 Newcastle 大学の Koeks らは、コルチコステロイド治療が歩行機能、脊柱側弯、呼吸機能、心機能に対して有効であることを報告しています。TREAT-NMD Global Database から異なる医療システムの 31 カ国から 5345 人の DMD 患者の登録データのまとめたもので、みなさんにご参加頂いている Remudy のデータもこの研究に含まれています。

詳細はこちらをご覧ください。

→ https://content.iospress.com/articles/journal-of-neuromuscular-diseases/jnd170280?utm_source=MadMimi&utm_medium=email&utm_content=JND+Newsletter+_+December+2017&utm_campaign=20171212_m143070898_JND+4%3A4&utm_term=Clinical+Outcomes+in+Duchenne+Muscular+Dystrophy_3A+A+Study+of+5345+Patients+from+the+TREAT-NMD+DMD+

— * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * —

◆2015 年に BMD の患者さん方に御協力いただきました、アンケート調査の結果を論文にまとめました。

→ [http://www.brainanddevelopment.com/article/S0387-7604\(17\)30276-0/pdf](http://www.brainanddevelopment.com/article/S0387-7604(17)30276-0/pdf)

筋ジストロフィーはいじめや不登校、就労継続困難の割合が一般人口より多く、その背景に身体障害があることが推察されました。

また精神疾患も 12%（主に神経症領域）に合併していました。

これらの割合が他の筋疾患と比べて有意に高いかは今後の課題ですが、BMD 患者さんに対しては診断後も幼少期から療育・教育やメンタルへの配慮が必要であると考えております。

協力いただきました患者さんには心より深謝いたします。どうもありがとうございました。

森まどか

以上

外部リンクは予告なく切れる場合がございます。ご注意ください。